

ICCAE



名古屋大学 農学国際教育協力研究センター ニュース

平成28年6月1日発行 通巻29号(年2回発行)

発行/名古屋大学 農学国際教育協力研究センター
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
TEL 052-789-4225(受付) FAX 052-789-4222
<http://iccae.agr.nagoya-u.ac.jp/index.html>
e-mail:iccae@agr.nagoya-u.ac.jp

第4回JICA-JISNAS フォーラムを開催

平成28年3月15日(火)、JICA市ヶ谷6階セミナー
ルームにて、第4回JICA-JISNASフォーラム「教育・
研究力の高度化に向けた人材育成を通じた大学の外
交力」が開催され、大学関係者、JICA関係者、官
公庁、民間企業等より50名を超える方々に参加いた
だきました。

日本の高等教育機関が有する知識と技術に基づく
知的支援は、開発途上国の学術振興に対して一定の
貢献を果たしてきたといえます。かつて日本の高等
教育機関で学んだ留学生が、帰国後に母国の行政機
関や教育・研究機関の意思決定を担う立場で活躍し
ている事実に着目すると、大学は極めて重要な「外
交力」を有していると理解できます。そこで今回の
フォーラムでは、特色ある取組みを進める2大学から、
それぞれの現状と課題についてご講演を頂き、
「外交力」の定義やあり方について議論するととも
に、大学の外交力を有効に機能させるべく組織的に
取り組んでいくための課題を見出すことを目指しま
した。

フォーラム当日は、緒方一夫JISNAS委員長によ
る開会挨拶に続いて加藤宏JICA理事よりご挨拶を
いただき、また金森紀仁農林水産省農林水産技術会
議事務局 国際研究官室 研究専門職より農林水産技
術会議事務局長からのメッセージをご披露いただき
ました。その後、白石隆 政策研究大学院大学 (GRIPS)
学長より「政策研究大学院大学の人材育成戦略」に

ついて、磯田文雄 名古屋大学アジアサテライトキ
ャンパス学院長・教授より「大学の新たな国際協力
の在り方 ~アジアサテライトキャンパス学院とウ
ズベキスタン日本青年技術革新センター~」につい
てご講演いただきました。

白石先生からは、米国コーネル大学において経験
されたインドネシアを中心とした戦略的な人材育成
の展開事例や、その経験に基づいたGRIPSにおける
人材育成戦略・留学生への教育体制についてご紹介
頂きました。近い将来に要職に就く可能性が高い中
央官庁の中堅層に教育を提供し高評価を得ることで、
大学の評価を高めるとともに質の高い学生の持続的
な確保を目指すといった具体的な戦略が示されまし
た。

磯田先生からは、名古屋大学が現在6カ国で展開
しているアジアサテライトキャンパス学院の設立と
現状についてご紹介頂き、現地の中央官庁の大臣や
次官に留学することなく名古屋大学の教育を提供し、
学位取得を支援することで、親日もしくは親名古屋
大学の層を厚くするという戦略が示されました。

両先生による話題提供に基づき、縄田栄治 京都
大学大学院農学研究科副研究科長、田和正裕 JICA
農村開発部次長をモデレーターとして、戦略性・国
の政策との連携・各機関の役割分担・相手国大学の
メリット確保・人材育成・地方創成といった点から
総合討論が行われました。討論の中では、「大学の
外交力」の定義や、多くの大学が外交の一環として
取り組んでいる地球規模課題対応国際科学技術協力
プログラム (SATREPS) 事業の新たな戦略、国際協
力を通じた自国の地方創成への貢献の可能性などが
議論されました。大学が予算的に厳しい状況にあ
る中で、国際化や大学のレピュテーションに限らず日
本の国益に寄与するような大学の戦略を考えていく
必要性を確認し、総合討論を終えました。(伊藤香純)



磯田文雄教授による講演